



にっしょく
日食はどうしておこるの

たいよう み にっしょく
太陽が見えなくなる日食

ちきゅう たいよう あだ つき はい こ つき ちきゅう ちいき たいよう ぶ
地球と太陽の間に月が入り込み、月のかげが地球におちた地域では、太陽の1部、ある
いは全部が見えなくなります。これを、にっしょく
日食は、つき しんげつ
日食は、月が新月のときしかおこりません。

にっしょく しゅるい
日食は3種類

たいよう つき ぜんぶみ かいきにっしょく たいよう ぶぶん み
太陽が月のかげにかくれて全部見えなくなるのを「皆既日食」、太陽の1部分が見えな
くなるのを「部分日食」といいます。
また、み つけ おお たいよう ちい たいよう きん ゆびわ み
また、見かけの月の大きさが太陽より小さいときには、太陽が金の指輪のように見える
きんかん にっしょく み
金環日食が見られます。

にっしょく ことば き かい
日食のとき、ダイヤモンドリングという言葉聞いたことがあるでしょう。これは、皆
きにっしょく ぜんご み たいよう ぜんぶ
既日食の前後に見られるもので、太陽がまさに全部かくれようとするとき、あるいは、ま
さにかげから出ようとするとき、ダイヤモンドの指輪がかがやくような美しいしゅん間を
ダイヤモンドリングとよんでいるのです。(監修 国司 真)

